資料１－③

団体名（病院名）	南魚沼市立ゆきぐに大和病院

1. 収支計画 （収益的収支）

（単位：百万円、%）

区分 ＼ 年度		3年度(見込)	4年度(見込)	5年度(見込)	6年度(見込)	7年度(見込)	8年度(見込)
収入	1. 医業収益 a	1,195	1,193	1,190	1,186	1,186	1,186
	(1) 料金収入	812	818	822	822	822	822
	(2) その他	383	375	368	364	364	364
	うち他会計負担金	36	36	36	36	36	36
	2. 医業外収益	214	210	209	208	209	206
	(1) 他会計負担金・補助金	159	162	162	161	163	163
	(2) 国（県）補助金	5	2	2	2	2	2
	(3) 長期前受金戻入	11	8	7	7	6	3
	(4) その他	39	38	38	38	38	38
	経常収益 (A)	1,409	1,403	1,399	1,394	1,395	1,392
支出	1. 医業費用 b	1,348	1,358	1,358	1,353	1,318	1,284
	(1) 職員給与費 c	795	821	821	821	821	821
	(2) 材料費	98	98	98	98	98	98
	(3) 経費	339	314	314	314	314	314
	(4) 減価償却費	110	117	117	112	77	43
	(5) その他	6	8	8	8	8	8
	2. 医業外費用	41	40	39	38	38	38
	(1) 支払利息	3	2	1	0	0	0
	(2) その他	38	38	38	38	38	38
	経常費用 (B)	1,389	1,398	1,397	1,391	1,356	1,322
経常損益 (A)－(B) (C)		20	5	2	3	39	70
特別損益	1. 特別利益 (D)	0					
	2. 特別損失 (E)	0					
	特別損益 (D)－(E) (F)	0	0	0	0	0	0
純損益 (C)＋(F)		20	5	2	3	39	70
累積欠損金 (G)		1,812	1,807	1,805	1,802	1,763	1,693
不良債務	流動資産 (ア)	608	717	827	932	1,003	1,043
	流動負債 (イ)	386	386	386	386	386	386
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源 (ウ)						
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (エ)						
	差引 不良債務 {(イ)-(エ)}-{(ア)-(ウ)} (オ)	▲ 222	▲ 331	▲ 441	▲ 546	▲ 617	▲ 657
経常収支比率 (A)/(B) ×100		101.4	100.4	100.1	100.2	102.9	105.3
不良債務比率 (オ)/a ×100		▲ 18.6	▲ 27.7	▲ 37.1	▲ 46.0	▲ 52.0	▲ 55.4
医業収支比率 a/b ×100		88.6	87.8	87.6	87.7	90.0	92.4
職員給与費対医業収益比率 c/a ×100		66.5	68.8	69.0	69.2	69.2	69.2
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額 (H)		▲ 222	▲ 331	▲ 441	▲ 546	▲ 669	▲ 744
資金不足比率 (H)/a ×100		▲ 18.6	▲ 27.7	▲ 37.1	▲ 46.0	▲ 56.4	▲ 62.7
病床利用率		88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8

団体名（病院名）	南魚沼市立ゆきぐに大和病院

2. 収支計画（資本的収支）

（単位：百万円、%）

区分 ＼ 年度		3年度(見込)	4年度(見込)	5年度(見込)	6年度(見込)	7年度(見込)	8年度(見込)
収入	1. 企業債	44	30	20	20	20	20
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	47	50	50	41	35	14
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金	1	1	1	1		
	6. 国（県）補助金	11	2	0	2	2	2
	7. その他						
	収入計 (a)	103	83	71	64	57	36
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
	純計(a)−{(b)+(c)} (A)	103	83	71	64	57	36
支出	1. 建設改良費	58	32	22	22	20	20
	2. 企業債償還金	87	94	94	79	69	27
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他						
	支出計 (B)	145	126	116	101	89	47
差引不足額 (B)−(A) (C)		42	43	45	37	32	11
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	42	43	45	37	32	11
	2. 利益剰余金処分額						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
	計 (D)	42	43	45	37	32	11
補てん財源不足額 (C)−(D) (E)		0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)−(F)		0	0	0	0	0	0

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。（例）千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

（単位：百万円）

	3年度(見込)	4年度(見込)	5年度(見込)	6年度(見込)	7年度(見込)	8年度(見込)
収益的収支	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
	195	198	198	197	199	199
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	47	50	50	41	35	14
合計	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
	242	248	248	238	234	213

（注）
1 （ ）内はうち基準外繰入金額を記入すること。
2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」（総務副大臣通知）に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。